キューブエルボ/室内リターンボックス

2024.5

施工要領

取付工事を始めるの前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けて下さい。
取付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施して下さい。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

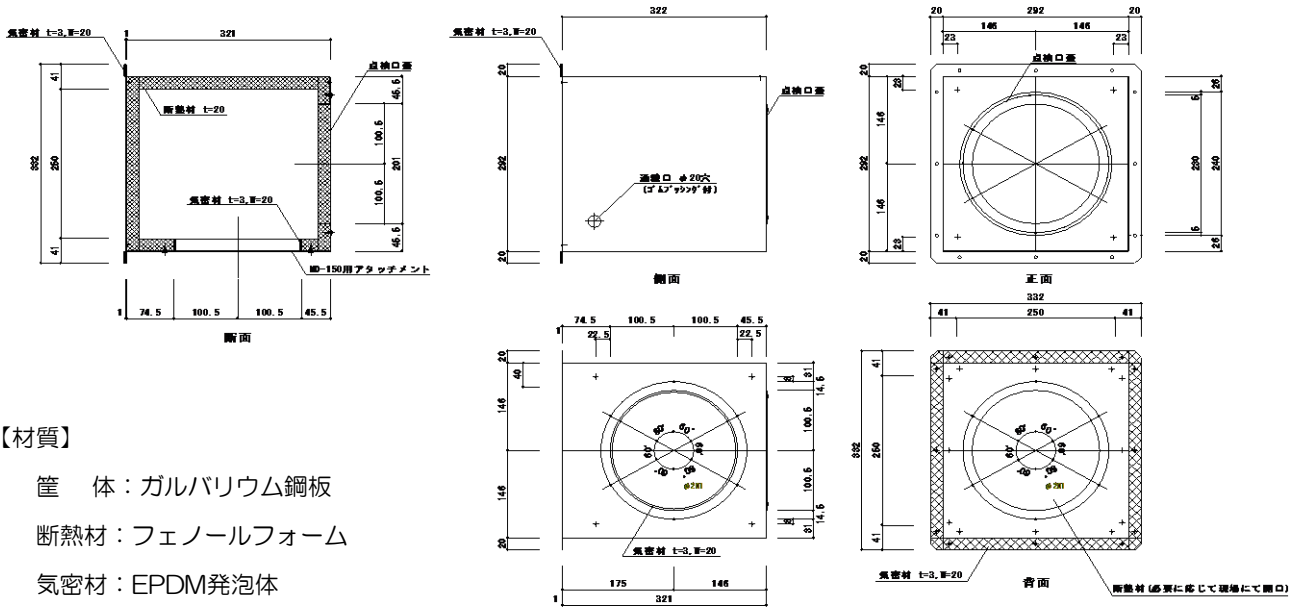
⚠ 警告	取扱いを誤ったときに、作業者が死亡または重傷を負う危険があることを示します。
⚠ 注意	取扱いを誤ったときに、作業者が軽傷を負うか、物的損害のみの発生が想定されることを示します。

⚠ 警　告

●安全対策を徹底して下さい。

施工時にはヘルメット、手袋、安全帯を着用し、安定した足場を確保して安全第一で作業して下さい。

キューブエルボ/室内リターンボックス



【材質】

筐　体：ガルバリウム鋼板

断熱材：フェノールフォーム

気密材：EPDM発泡体

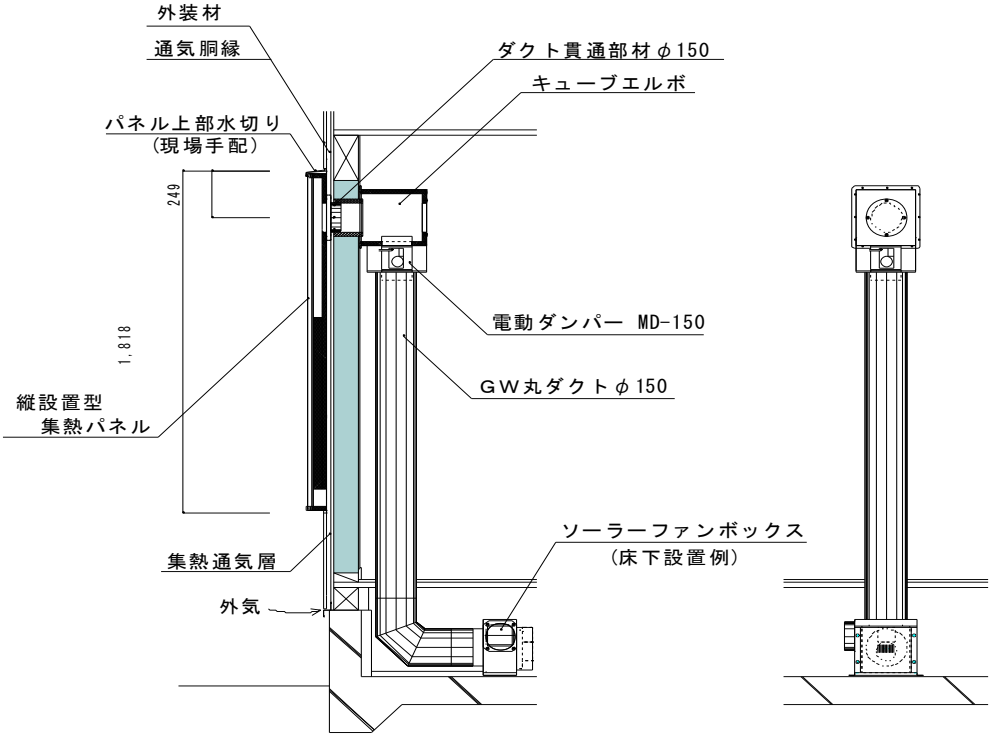
接続ダクト：GW丸ダクトφ150

同梱品：MD-150用アタッチメント、ダクトカラー、ビス類

※キューブエルボと室内リターンボックスは用途によって名称が異なるだけであり、製品仕様は共通です。

キューブエルボの使用方法

キューブエルボは、壁面集熱の場合に外壁を貫通したダクトを垂直方向に配管できるようにするためのものです。下図のように電動ダンパーを組込む事で外気を遮断する事ができます。
またダクト内の点検口としても機能します。



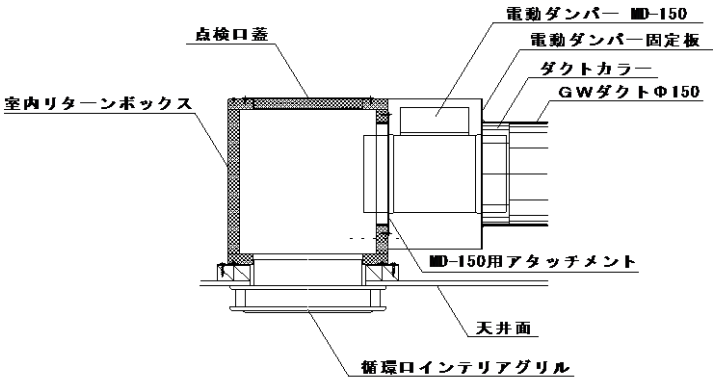
※本図は参考納まり図であり、実際の設置にあたっては現場の状況に応じた納まりを検討して下さい。

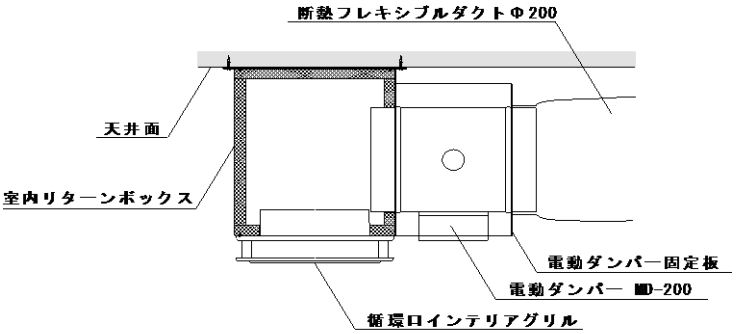
室内リターンボックスの使用方法

室内リターンボックスは室内循環機能を持たせる際の吸気口として以下の設置方法で使用します。

使用例①

室内リターンボックスを天井裏等に取付け、循環口インテリアグリルから吸気する。
2ヵ所のダクト接続口の一方に電動ダンパーを取付け循環経路を構成する。





使用例②

室内リターンボックスを露出させる形で壁や天井等に設置し、ボックス本体に循環口インテリアグリルを取付けて吸気する。

循環口インテリアグリル：P-23GX2-S(三菱電機)
給気清浄フィルター：P-23GXB(三菱電機)

施工

【施工手順】

① キューブエルボのダクト接続口の断熱材を切り抜く。
※納まりによっては切り抜かない場合もある。

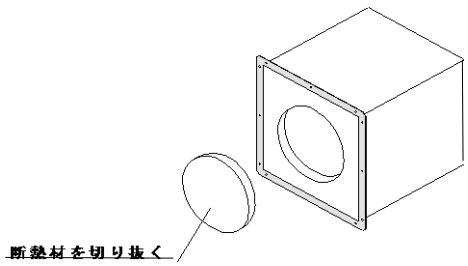
② 壁のダクト貫通部にGW丸ダクトを挿入し、内装材との取り合い部をシールする。

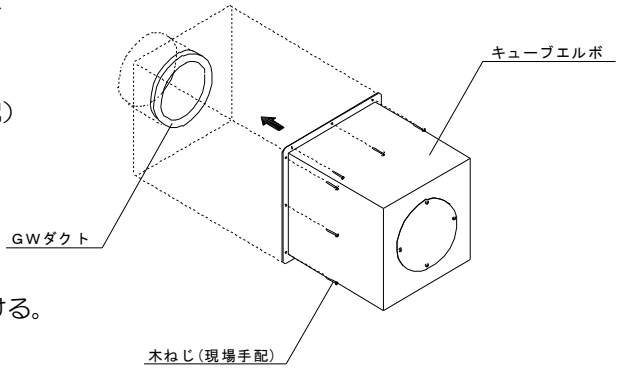
② キューブエルボを壁に押し付けて木ねじ（現場手配）で固定する。

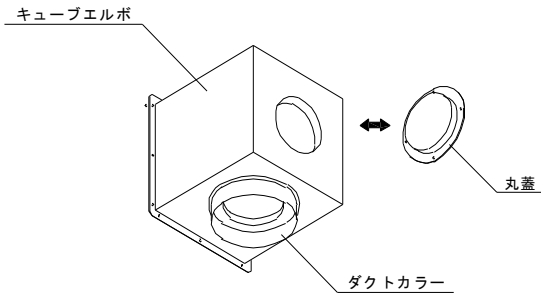
取付用の木ねじは、内装材及び下地材の仕様に合わせたものを使用してしっかり固定して下さい。

③ ダクトカラーを付属のビス4本(6本)で本体に取付ける。

④ GW丸ダクト(Φ150/Φ200）を接続する。



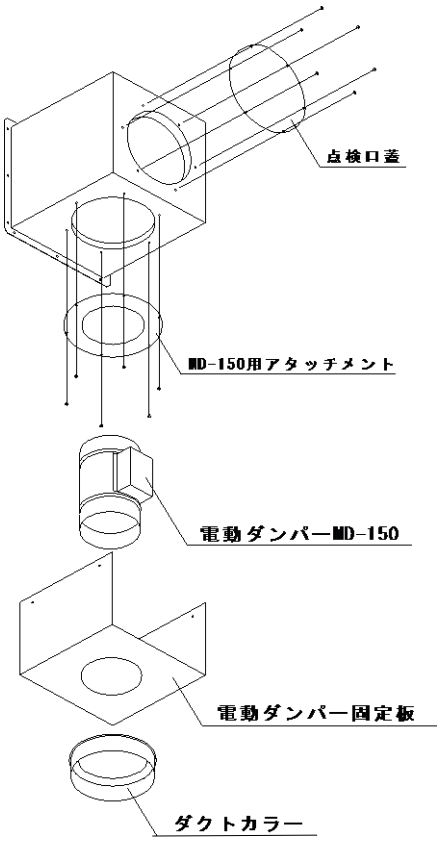




点検口蓋を取り外すとダクト内の点検ができます。
点検口蓋とダクトカラーを入れ替えて、直線的にダクティングすることもできます。

電動ダンパー取付

キューブエルボには、下図の要領で電動ダンパーを取付けます。



キューブエルボはダクト径Φ150/Φ200共通です。
これに電動ダンパーMD-150を取付ける場合は、ダクト接続口に「MD-150用アタッチメント」を取付けてから電動ダンパーを挿入します。
電動ダンパーMD-200を使用する場合は、そのままダクト接続口に取付ける事ができます。
電動ダンパーの固定は専用の固定板を使用します。

電動ダンパー側面設置の例

【施工手順】

① 電動ダンパーMD-150を使用する場合はダクト接続口にMD-150用アタッチメントを取付ける。

② ダクト接続口に電動ダンパーを挿入する。

③ 電動ダンパー下方（側方）から固定板を挿入し、ダクト接続ボックス側面にM4ドリルビス(4本)で固定する。

③ 電動ダンパーはモーターケースをメンテナンスしやすい向きで固定する。

④ GWダクトを使用する場合は、固定板下面にダクトカラーを取付けてダクトを挿入し、固定する。(M4x12トルネードポイント使用)

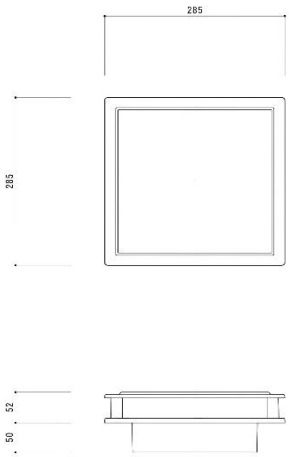
断熱フレキダクト等を使用する場合は電動ダンパー下部から挿入し、ダクトバンドにて固定する。（ダクトカラーは使用しない）

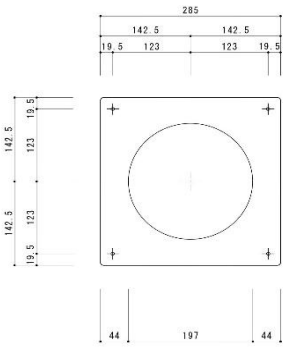
⑤ 電動ダンパーの電気配線を行う。
(ソーラーファンボックス施工要領書参照)

インテリアグリル

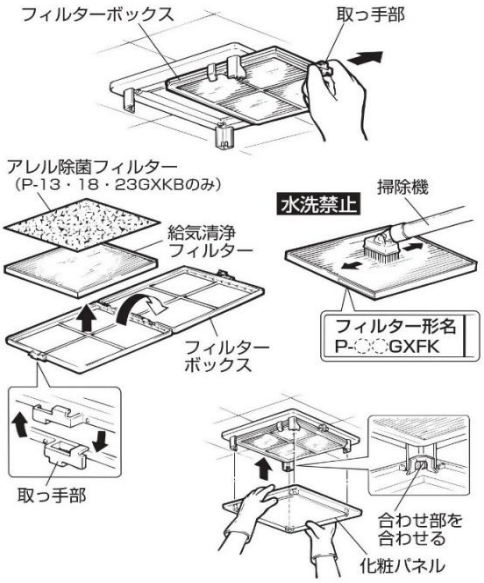
室内リターンボックスの循環口に取付けるグリルでフィルターを内蔵します。

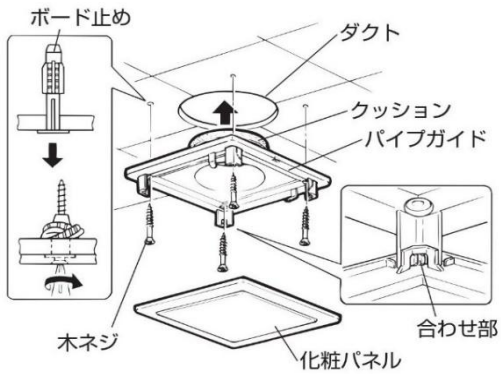
P-23GX2-S





三菱電機 P-23GX2-S
給気清浄フィルター：P-23GXB





合同会社サンシャイン・ラボ

〒430-0947　静岡県浜松市中央区松城町200-9 臼井ビル2階
TEL:053-401-4008　　FAX:053-401-4009